

<午前>

1 「ピクトグラムの認知心理学」 名古屋大学 北神慎司先生

認知心理学とは、知覚・注意・記憶・学習・思考など、人間の認知機能のしくみを明らかにする学問ですが、言わずもがな、ピクトグラムも認知する対象の一つです。そこで、認知心理学的な視点に立って、ピクトグラムの認知に関わるさまざまな問題やピクトグラムの利点などについて話題提供しました。

<午後>

2 「ISSAC（国際 AAC 学会）の報告ーシンボルやタブレット端末アプリ等の実践研究に関する最新情報ー」 京都府立南山城支援学校 藤澤和子先生

2012年7月末にピッツバーグで開催された ISAAC は、1983年に設立され、62カ国の人が参加している AAC の代表的な学会です。今回特に目立ったタブレット端末アプリを使った実践や、シンボルで読める Web の新聞、文字とシンボルの変換が容易なソフト等、実用性が高い取り組みを報告しました。また、2011年度の優秀論文賞を受賞した PIC シンボルに関する論文「知的障害者の動詞シンボルの学習に及ぼす動画の効果」を紹介しました。

3 「コミュニケーションボード、PIC シンボル作成の基本原則」

大阪府立茨木支援学校 槇場政晴先生

授業、トイレなどの場面に絞ったコミュニケーションボードの作成を試み、その紹介をしました。また、シンボルを作成する時の基本原則を合わせて報告しました。

4 「新たに作成する PIC シンボルについて」 大阪府立金剛コロニー 小林美津江先生

別支援学校や施設の現場に必要な PIC シンボルを、会員の皆さんから募集しました。それらをもとに、シンボル開発委員会で必要な語彙を作成することになりました。シンボルの開発にあたっては、PIC 作図原則、JIS 作図原則などを踏まえた上で、デザインのアイデアを出しながら、デザイナーと作成中であり、その途中経過を報告しました。